

# いま手渡したいこと

## 子どもたちに文化を

## 教師にあこがれと自由を

2回にわたって、「子どもの〈声〉を聴き、その悲しみをつかむ」ということについて考えてきました。繰り返しになりますが、このことは、子どもたちの、かけがえのない子ども時代の生活をともに過ごす教師にとって、決して手放してはいけない大切な視点だと思っています。

一方で、障害のある子どもの教育においては、子どもを「科学的に」つかむ、ということが大切だと言われま。特別支援教育においては、子どもの障害特性などの理解と、それを踏まえた対応の必要が従来以上に強調され、その前提として、専門家によるアセスメントや、それに基づく個別の支援計画、指導計画の策定と活用などが重視されてきました。こうした動向とまったく同じではありませんが、発達保障をめざす研究運動の中でも、「科学的な子ども理解」の大切さは繰り返し確認されてきたことです。そこでは、子どもを「障害・発達・生活」の視点からとらえることの大切さが言われてきまし

### 第4回 「科学的な子ども理解」を考える



こしの かずゆき / 1964年生まれ、奈良教育大学教授。専門は障害児教育学。全国障害者問題研究会副委員長、研究推進委員会委員長。著書に『子どもからはじめる算数—すべての子どもに学ぶ喜びを』（共著）（全障研出版部、2017年）など。

奈良教育大学  
越野和之

た。こうした角度からの子ども理解と、「子どもの〈声〉を聴き、その悲しみをつかむ」という子ども理解の視点とは、どう関係するのでしょうか。私が出会った二人の子どもに力を借りて、このことを考えてみたいと思います（プライバシー保護のため事例には変更を加えました）。

#### 数学は得意やねん

Aさんは、小学校の時から居住地の学校の通常学級で学んできました。中学2年生になった頃、学校の成績がふるわず高校進学が心配、という訴えで、保護者が私の研究室を訪れました。お話をうかがった後、では本人の状況を知るために、発達検査を試してみようということで、日を改めてAさんに大学まで来てもらいました。

検査の前に、学校での生活や勉強のことを聴きました。苦手な教科を尋ねると、「美術かなあ」、「他にもある?」と聞くと、「家庭科もちよつと」と言います。「家庭科は調理とか楽しくない?」と聞くと「調理はいいんやけど、裁縫が苦手やねん」とのことでした。いわゆる主要五教科の成績が思わしくないとうかがっていましたので、「数学は?」とつっこむと「数学は得意やねん」、「どんなことやってるの?」と聞くと「単項式と多項式」と答えてくれました。

そんなやりとりの後、検査を実施しました。結果、Aさんが安定的に答えられる課題は発達年齢で8歳くらいまでの課題、9歳以降の課題に応えることは難しく、保護者の当初の訴えは「学習障害ではないか」ということでしたが、全般的な発達の遅れが見られ、軽度の知的障害に相当する状態だと思われました。

この時用いた新版K式発達検査では、一歳台の課題

に「数学的推理」という課題があります。「針金3メートルで15円とすれば7メートルではいくらか」などの課題の書かれた図版を提示して暗算での回答を求めます。右の課題で言えば、1メートルあたりの値段（単位あたり量）を割算で算出し（ $15 \div 3 = 5$ ）、その後、「単位あたり量」に「いくつ分」を掛けて値段を求める（ $5 \times 7 = 35$ ）というように、複数の演算を組み合わせて解を求める操作が要求される課題です。暗算ではまったく手が出ないようだったので、紙に書いて考えてもらったのですが、それでもAさんのとりくみ方は、「えーと、3足す15かな。あ、掛けるか」と、提示された数字（3メートル、15円、7メートル）をランダムに式にあてはめて計算するというもので、「単位あたり量」どころか、単位の異なる量は足せないという加算の原則もあいまいなようでした。四則演算について言えば、小学校低学年の課題でつまづいていることが見て取れました。

これでは、中学校の数学は手も足も出ないだろうと思いつつ、では「数学は得意やねん」というAさんの自己認識はどこから来るのだろうか、と考えました。「調理はいいけど裁縫が」ということがヒントになりました。家庭科や美術では作品が目に見える結果として残ります。どんなに一所懸命にとりくんでも、クラスのみんなと同じようには仕上がらない、その目に見える結果がAさんの苦手意識の背後にあるのだと思いました。では「数学は得意」というのはどう考えたらよいでしょう。

中学の数学の授業の様子を考えてみました。教科書やドリル、あるいは先生が板書した課題をノートに写して計算する、順番にあてられて黒板で解いてみる、正答することもあるが、まちがっていることもある。Aさんは板書の視写はできますから、自分では正答を導けなく